

科目名	言語療法特論				授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年			必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
言語聴覚士に必要な知識を整理する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
ポイント講義を通じて言語聴覚障害学全般の理解と感心を深める。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕									
言語聴覚士として必要な基本的姿勢と態度・知識・技術を身に付ける。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	専任教員によるポイント講義(1)								
3	専任教員によるポイント講義(2)								
4	専任教員によるポイント講義(3)								
5	専任教員によるポイント講義(4)								
6	専任教員によるポイント講義(5)								
7	専任教員によるポイント講義(6)								
8	専任教員によるポイント講義(7)								
9	専任教員によるポイント講義(8)								
10	専任教員によるポイント講義(9)								
11	専任教員によるポイント講義(10)								
12	専任教員によるポイント講義(11)								
13	専任教員によるポイント講義(12)								
14	専任教員によるポイント講義(13)								
15	専任教員によるポイント講義(14)								
16	専任教員によるポイント講義(15)								
17	専任教員によるポイント講義(16)								
18	専任教員によるポイント講義(17)								
19	専任教員によるポイント講義(18)								
20	専任教員によるポイント講義(19)								
21	専任教員によるポイント講義(20)								
22	専任教員によるポイント講義(21)								
23	専任教員によるポイント講義(22)								
24	専任教員によるポイント講義(23)								
25	専任教員によるポイント講義(24)								
26	専任教員によるポイント講義(25)								
27	専任教員によるポイント講義(26)								
28	専任教員によるポイント講義(27)								
29	専任教員によるポイント講義(28)								
30	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版					大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									